

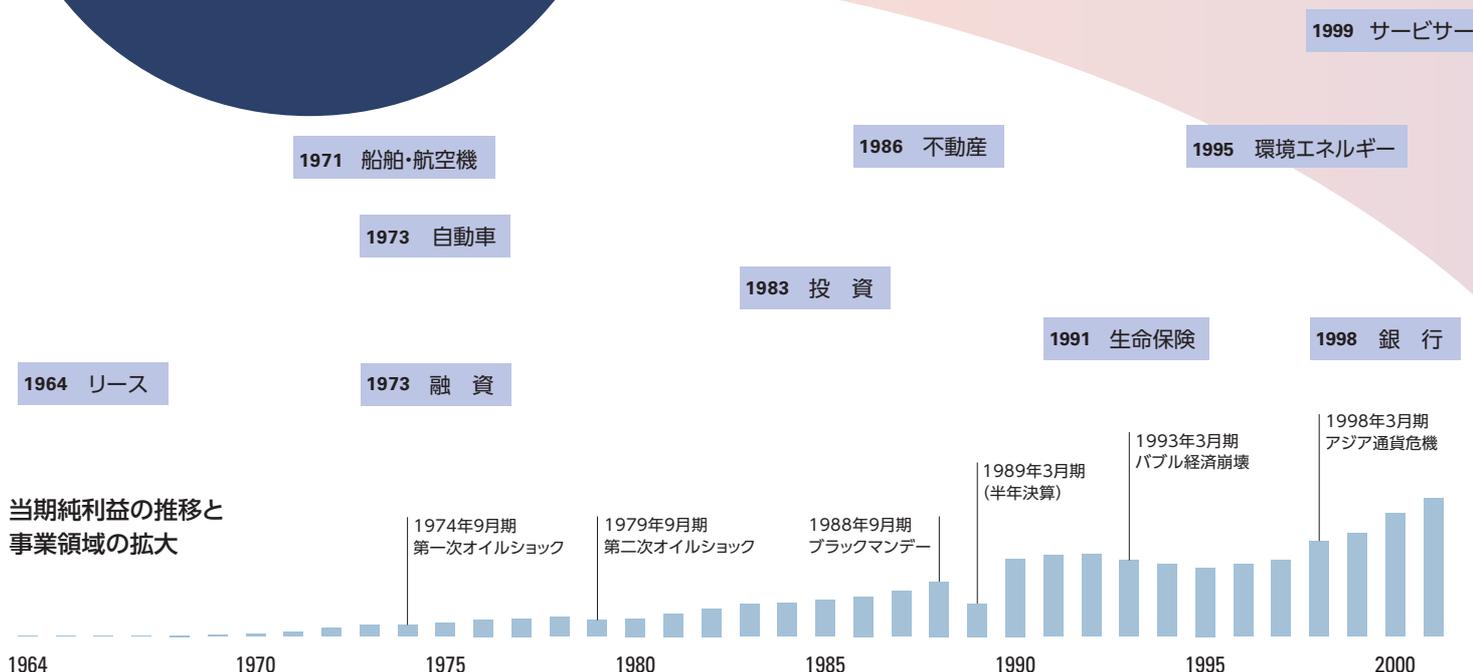
## オリックスの価値創造

# 経営哲学から 生まれた3つの強み

1964年にリース会社として誕生して以来、  
「新しい価値を創造する」「自分の足で立つ」という経営哲学を受け継ぎ、  
多様化するニーズや環境の変化に対応しながら、  
チャレンジとイノベーションを積み重ねた結果、  
「柔軟性」「強固な基盤」「規律」という、オリックス独自の強みが生まれました。

### オリックスの経営哲学

「新しい価値を創造する」  
「自分の足で立つ」



## オリックスの3つの強み

**Flexibility****柔軟性**

1964年に日本に“リース”という新しい金融手法を導入したオリックスですが、リースに固執しては大きな成長は望めませんでした。事業展開や人材活用などあらゆる面で臨機応変に対応してきたことが、オリックスの“柔軟性”という強みを生み出しました。

**Strong Platform****強固な基盤**

柔軟に事業領域を拡大するとともに、海外展開も進め事業基盤を広げました。同時に、その基盤を強固にするため、規律を持ち、財務やガバナンス体制も強固なものへと整えていきました。このようなプロセスを経て、オリックスの“強固な基盤”という強みが生まれました。

**Disciplined****規律**

オリックスは設立初期から自主独立路線を貫きました。株主会社に依存しない経営を進めるための自己規律、事業拡大と環境変化に対応するためのリスクマネジメント力、これらがオリックスの“規律”という強みを生み出しました。

